

胃がん検診内視鏡検査の導入について

本市では、がんなどの生活習慣病予防対策の一環として、これらの疾患の疑いのある人や危険因子を持つ人をスクリーニングするため、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・肺がんなどの各種がん検診を実施している。

このうち、胃がん検診については、検査方法として胃部エックス線検査のみを実施しているが、本年10月より、胃内視鏡検査を新たに導入することとする(受診者は、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれかを選択するものとする)。

1 背景

国においては、市町村が実施するがん検診について、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(以下「指針」という。)を定めており、本市では、この指針に基づき胃がん検診胃部エックス線検査を実施してきた。

国は、本年2月4日付けでこの指針を改正し、胃がん検診については、「問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれかとする」としたものの。

2 対象及び受診間隔

・対象:50歳以上の市民 ・受診間隔:2年に1回
※いずれも指針に基づく。

3 受診料(自己負担額)

1,000円

4 導入時期

平成28年10月1日(予定)

5 実施方法

個別検診(指定の医療機関で実施)

6 検査委託先

北九州市医師会

7 その他

胃部エックス線検査についての変更はない。

対象:40歳以上の市民(集団検診は35歳以上)

受診間隔:1年に1回 受診料:1,000円